

可変表示システム

「KTS-SS4301-TP」

『太陽電池仕様』

製品概要

株式会社キクテック

はじめに

可変表示システムは、太陽電池を電源とした自発光サインです。

通常は、「走行注意」／「カーブ注意」の文字を交互に点滅発光させることで、認識性と視認性を高め、的確に車両に対して注意喚起を行ないます。また、冬季時において設定温度（通常は約2℃）以下になると「走行注意」（又は「カーブ注意」）／「凍結注意」の文字に切り替わり、スリップ等の注意を促します。

日中は、太陽光からのエネルギーを太陽電池により、光-電変換して効率よく蓄電池に充電を行ないます。また、昼夜の輝度を自動的に切り替えるので、昼夜での最適な表示を設定することができます。

可変表示システムの特長

1. 光-電変換効率の良いシリコン太陽電池を使用しているため、日照条件の悪い場合でも正常に作動します。
2. 設計に太陽電池モジュールの曇り率や安全率を掛けているため、起電に余裕があります。
3. 本体にアルミニウム合金の採用により、衝撃に強く、耐腐食性にも優れています。
4. 発光体として高輝度発光ダイオードを使用し、高視認性で球切れの心配がありません。
5. 昼夜間の発光において最適な輝度を設定できますので、認識性に優れています。
6. 日照条件の悪い日（曇天・雨天）が7日続いた場合でも確実に動作を続けます（不日照7日保証）。
7. 設定温度以下になった場合、「凍結注意」の表示を行なうことで、スリップ等の注意喚起をドライバーに示すことができます。

仕 様

項目	種類	可変表示システム
		KTS-SS4301-TP
		標準地域仕様
太陽電池	種類	単結晶シリコン太陽電池
	最大出力	6.2W
	最適動作電圧	18.2V
	最適動作電流	3.41A
蓄電池	種類	小型シール鉛蓄電池
	電圧	12V
	容量	8.8Ah
発光体	種類	高輝度発光ダイオード
	発光体	赤橙色
動作	点滅回数	60±10回/分(交互)
	点灯時間	昼夜点滅(昼夜で輝度を自動変更)
材料	本体	アルミニウム合金
	リブ	標準リブ

※本製品は機能・品質向上のため、仕様を変更することがあります。

(*) この仕様は、可変表示システム「KTS-SS4301-TP」に関する内容です。

(*) 寒冷地域仕様は、太陽電池と蓄電池の容量が1.5倍程度大きくなります。

作動概要

- ① 太陽光を上部太陽電池により光エネルギーを電気エネルギーに変換し、制御ボックス内の蓄電池に充電します。
- ② 昼夜を問わず、「走行注意」、「カーブ注意」を交互に点滅発光します。
- ③ 設定温度以下になると、「走行注意」（または「カーブ注意」）、「凍結注意」を交互に点滅発光します。
- ④ 設定温度以上になると、「走行注意」、「カーブ注意」の交互に復帰します。

添付資料

- 図面